

# 日本語学習支援サイト RAICHO 報告 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)

濱田 美和

## 1 日本語学習支援サイト RAICHO の概要

「日本語学習支援サイト RAICHO」(以下、「RAICHO サイト」, <http://www3.u-toyama.ac.jp/raicho/>) は、富山大学に在籍する留学生の日本語学習を総合的に支援するための一つの手段として、国際機構が運営しているサイトである。本サイトのねらいは、富山大学で学ぶ留学生の学習を支援するという点にあり、ターゲットを富山大学の留学生に限定することで、サイトに掲載する情報を絞り込み、利用者が必要な情報に容易にアクセスできるようにするという点に重点を置いている(サイト自体は学内外を問わず利用可)。本稿では、RAICHO サイトの 2018 年度の整備状況について報告し、今後の課題を述べる。

## 2 2018 年度 RAICHO サイト整備状況

RAICHO サイトはセキュリティ上の問題点が生じたため、2013 年 12 月より始めた外部サーバでの運用を 2016 年度末に一旦停止した。その後、他会社のサーバ利用も検討したが、外部サーバでの運用はセキュリティ面、予算面から非常に厳しいことがわかり、学内の外部公開サーバの利用に切り替えることにした。外部公開用サーバでは MySQL(データベース)が利用できないため、日本語自己学習コンテンツの解答履歴の参照機能を外して、クイズ・テスト作成ソフト「THiNQ Maker」(ロゴスウェア株式会社)を用いて、新たにコンテンツを作り直すことにした。2017 年度は日本語自己

学習コンテンツのうち、日本語入力に関するクイズを「THiNQ Maker」で作り直し、2017 年度末に学内の外部公開用サーバを利用して RAICHO サイトを再公開した。

2018 年度は RAICHO サイトの一部をスマートフォン対応とするためのリニューアル作業を行った。「THiNQ Maker」で作成した日本語自己学習コンテンツのクイズ自体はスマートフォン対応となっているが、クイズにアクセスするまでの RAICHO サイトのトップページやクイズの一覧を示したページはスマートフォン対応となっていなかった。そこで、これらのページを Web 制作会社プロヴィデサイン株式会社に依頼して、更新しやすいページデザイン、ページ構成とすることを第一条件にリニューアルを行い、2018 年度末にリニューアルページを公開することができた。



図1 RAICHO サイトトップページ (リニューアル後)

## 3 今後の課題

2016 年度末の外部サーバでの運用停止以降、2 年をかけて新たな運用体制を少しずつ整備してきた。しかし現在再公開できているのは 2016 年度までに公開していたコンテンツのごく一部である。今後も継続してコンテンツの作り直しの作業を進めていく必要がある。